



# ゴルフ界がひとつになる未来へ向けて 100周年を迎えるJGAが 旗振り役となるべき

JGAは今年10月、創立100年を迎える。定款を変更し、ゴルフの普及振興を活動の柱に据えたJGAが100年 の節目を迎えるにあたりどんな未来図を描いていくべきか。池谷正成会長と山中博史専務理事が語り合った。



JGAの事業内容を語る山中博史専務理事

山中 新型コロナウイルスが5類に移行した2023年は いろいろなことがノーマルな状態に戻りました。その中 で、池谷会長にはさまざまなJGA主催競技に足を運ん でいただきましたが、いかがだったでしょうか。

**池谷** 昨年は夏が非常に高温で、どの競技も開催倶 楽部がコースのメンテナンスに苦労されていたこと が強く印象に残っています。競技のほうは山中専務理 事が言うようにノーマルに戻ったことで3オープン(日本 オープン、日本女子オープン、日本シニアオープン)は 本格的に観客を入れての開催となったわけですが、 日本女子オープンは約2万6000人、日本オープンは 2万3000人近い入場者がありました。コロナ禍で足が 遠のいていた方も戻ってきて、そういう意味では手応 えのある再スタートの年になったのではないでしょうか。

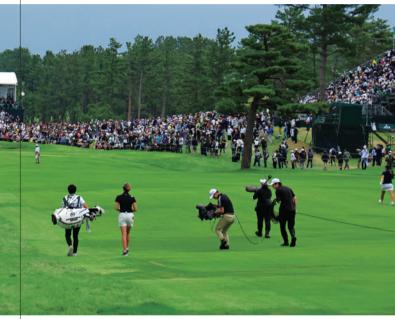
山中 日本女子オープンは福井県の芦原GCでの開 催でした。

池谷 恐竜の化石がたくさん発見されている福井県 にちなんで恐竜をイメージしたマスコットをあしらった グッズがとても人気があって、飛ぶように売れていまし たね。競技の内容も素晴らしかった。

山中 優勝した原英莉花選手と2位の菊地絵理香 選手は3日目と最終日が同じペアリングで熱戦を演じ ましたね。

**池谷** 二人とも素晴らしい内容のゴルフを展開してく れたので非常に盛り上がりました。日本オープンのほう も久しぶりに石川遼選手が活躍して盛り上げてくれま した。優勝した岩﨑亜久竜選手は昨年ヨーロッパでつ らい思いをしたようですが、そこで学んだことが活かせ たような良いゲームをしていました。また1人新しい





大変な盛り上がりを見せる日本女子オープン









2022年の世界アマ出場時の中島、蟬川、岡田

スターが出てきた感があります。

山中 男子はツアーの賞金ランキング1位から3位が みなIGAナショナルチーム卒業メンバーでした。

池谷 そうですね。実質的なルーキーイヤーだった 中島啓太選手と蟬川泰果選手が1位、2位で、少し 前にプロ転向していた金谷拓実選手が3位でしたね。 IGAがナショナルチームのコーチングスタッフにオー ストラリアからガレス・ジョーンズさんらを呼んでもう8年 経ちましたが、その成果が花開いた年といっても過言 ではないと思っています。

山中 欧州DPツアーで優勝した久常涼選手もIGA ナショナルチーム出身です。

池谷 久常選手は米ツアーの出場資格を得ましたし、 日本の上位3人をはじめ若手が世界の至る所で優勝を、 できればメジャーでね、そういうことをやっていただけれ

ば日本のゴルフ界が非常に盛り上がります。国内で プレーする機会が減るでしょうけれど、その穴を埋める 選手を……。

山中 我々が育てていくということですね。以前は IGAナショナルチームのメンバーがプロになったら 我々はノータッチでしたが、今はプロ転向後も希望すれ ばジョーンズヘッドコーチらの指導を受けたり合宿に参 加できるといったルーキープロプログラムがあり、アマ チュアとプロの一気涌貫がうまくいっていると感じます。 昨年のダンロップフェニックスでは現役IGAナショナル チームメンバーの杉浦悠太選手が先輩の中島選手や 蟬川選手を抑えて優勝という快挙を成し遂げました。

池谷 杉浦選手も今年、活躍してくれるでしょう。女子 はナショナルチームOGがひと足先に大活躍してくれて いて、今年はさらに話題を提供してくれそうです。

山中 強くて皆さんから愛される選手を育てて活躍してもらうというのはゴルフ振興のためにも必要なことだと思います。ゴルフ振興に話題を移しますと、池谷会長が一昨年の6月に就任されてから本格的にゴルフ振興に力を入れるためにゴルフ振興推進本部を立ち上げました。同本部は「情報シェアリング部会」「ゴルフと健康部会」「女性とゴルフ部会」という3つの部会があり、それぞれ具体的な活動をスタートしています。また昨年8月にはR&A主催で日本のゴルフ界が直面している問題点やゴルフ振興などを話し合う「R&Aジャパンゴルフサミット」が開催されました。

**池谷** 「R&Aジャパンゴルフサミット」は学ぶことが多かったですね。私が再認識したのは日本のゴルフ界は世界の中でも非常に大きな存在だということ。日本はゴルフ場の数、ゴルフ人口でアメリカに次ぐ第二のゴルフ大国でR&Aも大きな関心を持っており、日本のゴルフがさらに発展するようにR&Aの知見を利用してくださいと。ひとつ驚いたのがR&Aはゴルファーの定義の解釈を我々よりもずっと広い視野で見ているということでした。

山中 彼らは練習場だけのゴルファーやシュミレーターゴルフ、さらにはゲームのゴルフなども全部含めてゴルファーのポテンシャルがあると解釈していましたね。

**池谷** だから日本でもそのような分野にまで広げて振興していきましょうよと。R&Aは普及振興には非常に力を入れており、日本が振興に力を入れ始めたことに関心を持っていただいていることがよく分かりました。振興という点では女性ゴルファーの参画が我々の重要な目標になっています。

山中 昨年6月に行ったWOMEN'S GOLF DAYはいろんなゴルフ場やいろんな方に参加していただいて評判が良かったですね。女性ゴルファーを増やすだけでなく公益法人としての多様性を実現するために女性の理事を増やすことも求められています。

**池谷** 重要なことです。それに女性理事だけでなく 外部のいろいろな知識を持った方にも参加していただ いてJGAの活動が外部に分かる透明な運営をしてい くことも重要だと思っています。

**山中** 変革の時期を迎えているJGAですが、今年10月17日に創立100年を迎えます。ちょうど日本オープンの翌週になりますね。



JGA100年の節目に語る山中専務理事(左)と池谷会長(右)



昨年8月に開催されたR&Aジャパンゴルフサミット

### Golf Development 普及振興

日本ゴルフ協会ではアスリートゴルファーのみならず、一般ゴルファーやこれからゴルフを始める方も 対象としたゴルフの普及、振興を目指し、様々なゴルフ振興の普及活動を行っております。





て作成されたロゴ マーク入りグッズ

100周年を記念し

**池谷** 日本オープン会場の東京ゴルフ倶楽部では100 周年を祝うためにいろいろな準備をしていただいてい るようです。そして日本アマの会場が廣野ゴルフ倶楽 部。東西の歴史ある倶楽部で節目の大会を行う形に なります。

山中 JGAでは100周年ロゴ入り記念グッズの発売や日本のゴルフの歴史をデジタル化すること、あるいは日本プロゴルフ殿堂とJGAが一緒になって日本ゴルフ殿堂としてやっていくなど、さまざまな活動を計画しています。

**池谷** 100年前は関東と関西、合わせて7つの倶楽部が一緒になってJGAという組織をつくったわけで、当初は倶楽部中心の運営でした。ですが現在は日本のゴルフ全体をまとめる役割を担った組織へと成長しています。正会員であるメンバーシップの倶楽部だけではなくパブリックのゴルフ場や練習場などと一緒に活動することが現在のJGAの活動に求められていると思います。

山中 我々は公益法人ですし、3年前に定款を変更したのもゴルフ全体のための普及振興を中心にして公益 法人として国から求められることをやっていこうとしたからです。昨年は本格的、具体的な活動ができた1年だったので100周年を機に一層加速しなければならないと考えています。

**池谷** 公益法人になり、オリンピック競技にもなり、与えられている環境条件が変化してきています。それに対応して活動していかなければならない。これから先の100年はさらにそのような活動を進めていくというのが目標になるでしょう。

**山中** ゴルフやゴルフ場について世間から誤解されていることはたくさんあります。しかし、ゴルフは健康に非常に良いという研究データが出ていますし、高齢者の孤立や認知症の予防にも役立ちます。それにゴルフ場は雇用や経済効果などで地域社会に貢献していますし、環境保全や災害時の拠点としても活用されています。こういったことをきちんと世間に広くアピールして、

ゴルフのイメージアップを図ることもJGAの大切な役割だと思うのです。ゴルフ場利用税や国家公務員倫理規程の問題もまずはゴルフやゴルフ場のイメージアップが先と考えています。そのためにもゴルフの振興をきちんとやっていこうというのが現在の協会としての方針ですね。

池谷 さまざまな求めに応じて活動を強化していくことになりますが、求められることがこれだけ多岐にわたると現在の財源では対応できないという問題があります。いかにしてJGAの財源を増やしてさらに大きな活動ができるようにするか、今、それに腐心しているところです。山中 日本のゴルフ界は同じようなことをやっている組織や団体が数多くあって、お金や時間を有効的に使えていないという現状があります。そこをJGAが旗振り役となり、一緒にできることは一緒にやっていく。スリム化していかないと人の力も関心もお金も集まりにくいのではないでしょうか。

池谷 確かに細分化され過ぎていますね。各団体、日本のゴルフ界のために努力しているということは同じはずです。協力し合ってひとつの目標の元にやれればもっと効率よく運営でき、たくさんの力が出せるはずです。JGAだけでは人員面でも財政面でも時間の面でも限りがある。今までのやり方では限界にきていると感じます。

山中 次の100年に向けては地区ゴルフ連盟やゴルフ界全体での協力体制が重要になってきますね。池谷会長、100周年の節目にJGAとして具体的な数値目標を掲げるのはいかがでしょう。たとえば現在のゴルフ人口は600万人とも700万人とも言われていますが、ゴルフ振興を推し進めて最盛期に近い1000万人くらいにしたいですよね。それにハンディキャップインデックス取得者100万人と女性ゴルファーの比率を全体の30%に増やすことも達成したい目標だと思いますが……。

**池谷** 1000万人というのはそう簡単ではないと思いますが、目標は大きく掲げたほうがいいですね。

**山中** 今年はパリオリンピックもあります。JGA100 周年で日本の選手が金メダルを取れば最高のお祝い事になります。

**池谷** 先ほどお話しした若い選手たちが活躍してくれればゴルフに対する注目が高まりますので、そういう形の中で我々がやっていることを認めていただいて、さらなる展開につなげていきたいですね。

5

JGA100年	<b>軍の主な歴史(概略)</b>	
<b>1924</b> 大正13年	●10月17日「Japan Golf Association」創立。東京・駒沢の東京ゴルフ倶楽部に7倶楽部の代表が参集し、	
1927 昭和 2年	ジャパンゴルフアソシエーション(略称JGA)を創立。 ●JGA主催で日本オープン選手権を創始。	
1935 昭和10年	●JGA副会長に大谷光明、理事長に森村市左衛門が就任。当時JGAの日本語表記は日本ゴルフ聯盟。	124
1937 昭和12年	<ul><li>●従来のJGAの英文規約、細則を邦文に改訂し、日本ゴルフ聯盟の名称を日本ゴルフ協会とすることを臨時総会で決定。 従来のチェアマン制を会長制に改め森村市左衛門が就任。また、副会長制を廃止して大谷光明が理事長に選任。 日本ゴルフ協会の関西支部を茨木カンツリー倶楽部内に設ける。</li></ul>	
1938 昭和13年	●日本体育協会(現・公益財団法人日本体育協会)に加盟し、陸上、水泳、体操、蹴球などのオリンピック種目と 肩を並べられるスポーツ団体として認められた。戦時態勢に入り、ゴルフボールは各倶楽部あての配給制を決定。	
1941 昭和16年	●太平洋戦争勃発。昭和17年度のJGA主催各競技の開催は当分見合わせるとして各倶楽部に通知書を発送。	1000
1942 昭和17年	● 臨時総会を開催し、解散を決議。大日本体育会の打球部会として発足、部会長に井上匡四郎が就任し、 日本ゴルフ協会の事業は打球部会に引き継がれた。日本ゴルフ協会は解散に当たり、各加盟倶楽部に対して、 これまでの事業の協力に感謝し、記念品と感謝状を贈る。	1924年
1943 昭和18年	●井上匡四郎を部会長に発足した大日本体育会・打球部会は日本的打球の新しい理念と体制との具現確立を目指した	
1944 昭和19年	打球部会宣言を行った。 ●大日本体育会の各部理事会において、この年度の各部事業は体育会が管理し、事業を実施しないことを決定。	
1945 昭和20年	●太平洋戦争終結。大日本体育会は各部会を解消、寄附行為の改正を文部、厚生両大臣より認可され。 日本体育協会(現・公益財団法人日本体育協会)として再出発。日本ゴルフ協会は加盟団体として復帰できたが、 施設(ブルブ場)の復旧が伴わないために活動の再開が遅れた。	
1946 昭和21年	●日本ゴルフ協会規約が公示(体育会会報)されJGAの体育協会復帰は公的なものになり、日本各地でゴルフ場の復旧工事	が進む。
1949 昭和24年	●日本ゴルフ協会が復活。東京・銀座の交詢社で戦後初のJGA総会が開催。旧打球部会役員、関東、関西両連盟の11 倶楽代表が出席し、日本ゴルフ協会の復活を決議した。名称を日本ゴルフ連盟と改称。日本ゴルフ連盟は当分の間、旧日本ゴル規約を準用することにし、ルールは原則として米国新ルールを採用と決定、ボールは英国式の小型球の併用を認めた。	
1950 昭和25年	●日本ゴルフ連盟の名称が日本ゴルフ協会になる。 ●理事長制を廃止して、会長制に改組。JGAが推進役となって日本プロフェショナルゴルフ協会が誕生。	
1960 昭和35年	● 生事及例を廃止して、云反例に以組。JGAが推進区となって日本ノロノエジョブルコルノ励云が誕生。 ● 女子委員会設置。	
1961 昭和36年	●オリンピック募金(来場者1人から5円)を開始。	
1963 昭和38年	●JGAハンディキャップ制の施行。 ●オリンピック募金を来場者1人から10円とし、1人5円は廃止。	
1966 昭和41年	●娯楽施設利用税対策委員会を設置。	
1968 昭和43年	● 娯楽施設利用税反対実行委員会が各加盟倶楽部に陳情署名運動を依頼、政府の税制調査委員会や自治大臣に陳情。	
1969 昭和44年	●会則の一部を改定し解散、あらたに関東、関西両連盟で協会を創立。 ●国際交流の基金を積み立てることになり、加盟地区連盟の各倶楽部に対して	5
1971 昭和46年	昭和45年5月1日より向う1年半、来場者1人に10円の協力を仰ぐ。 ■JGA主催で日本女子オープン選手権を創始(TBS女子オープンを継承)。	
1973 昭和48年	●日本体育協会(現・公益財団法人日本体育協会)の加盟団体から退会。	
1974 昭和49年	<ul><li>■ゴルフ場固定資産税減額について自治大臣に陳情。日本ゴルフ協会は創立50周年を迎え、東京で記念行事が行われる。</li><li>通産省からの勧告によりコースの距離表示をヤードからメートル法の採用に関し、具体的な指針を加盟各倶楽部に通過</li></ul>	60279.0
	●エチケットの精神高揚を目標に「エチケット月間」の設定を決める。 ●JGA会長に山形章が就任、安西浩会長は名誉会長に、石井光次郎は顧問。	
1977 昭和52年	●JGA会長に副会長の乾豊彦が就任。 ●昭和52年11月25日から53年1月25日まで、全国のゴルフ場、練習場などで娯楽施設利用税免除の陳情署名運動を	
1979 昭和54年	続けてきたが、100万人を突破したため、JGA会長は当時の自治大臣を訪れ、滅免除の趣旨を説明し、善処を要望。 ■JGAミュージアム建設資金として1人10円の募金の要請を決定(昭和55年より1年間)。	
1981 昭和56年	<ul> <li>● 昭和55年より1年間JGA/レディキャップ方式が全国的に実施。</li> <li>● ジュニア委員会設置。ジュニア選手権を創始し、ジュニアゴルファーの適切な指導に踏み切る。</li> <li>● 広報委員会を設置、広報活動の活発化を図る。</li> </ul>	
1982 昭和57年	● JGA創立55周年を記念して創設されたゴルフミュージアムが廣野ゴルフ倶楽部に開場。	
1983 昭和58年	● JGA副会長に細川護貞が就任。	two nuts
1984 昭和59年	<ul><li>●香港で開催された第14回世界アマチュア・チーム選手権で日本チーム(阪田哲男、加藤一彦、尾家清孝、木村憲明)が初</li><li>●JGA創立60周年記念祝賀会が東京で行われ、英、米を始めアジア各国のゴルフ協会長が 多数参列</li><li>●距離表示にメートル、ヤードの併記を各ゴルフ場に勧奨。</li></ul>	慢勝。
1985 昭和60年	●JGA会長に細川護貞が就任し、前会長乾豊彦は名誉会長に。安西浩は顧問。 ●1985年度のゴルフ国際会議、R&Aの委員会に委員を派遣し、一層の国際化を進める。	
1986 昭和61年	<ul><li>●用具審査委員会を設置。</li><li>●主催競技開催コースの距離表示をヤードに統一。</li><li>● 従来のジュニア委員会を吸収したジュニア育成委員会が発足。</li></ul>	
1987 昭和62年	<ul><li>●日本体育協会(現・公益財団法人日本体育協会)に加盟復帰を申請。</li><li>●文部省より財団法人として認可される。寄附行為改訂により、30名の評議員会を設置。</li></ul>	
1988 昭和63年	●普通会員、ジュニア会員、賛助会員制度発足。	
1989 平成元年	<ul><li>●昭和天皇、崩御。大喪の礼が陛下のゴルフのゆかり深い東京・新宿御苑で行われる。</li><li>●理事会で政策委員会及び財務委員会、グリーン委員会の設置を決定。</li><li>●女子部会を設置。</li></ul>	
1990 平成 2年	● JGA、日本ゴルフ場事業協会、ゴルファーの緑化促進協会と日本パブリックゴルフ協会の4団体は、 環境・社会問題芝草研究に対応すべく日本ゴルフ関連団体等協議会の設置を決定。	
1991 平成 3年	<ul> <li>文部省より主催競技の後援名義が使用認可され、大臣杯、賞状の交付が行われることとなる。</li> <li>またスポーツ振興基金より日本アマチュア、女子アマチュア選手権に約600万の助成金を受け取ることとなった。</li> <li>ゴルフ関連団体協議会は日本芝草学会の協力を得て「日本芝草研究開発機構」を設立、グリーンキーパーライセンス制度を創設。</li> </ul>	
1992 平成 4年	●日本体育協会(現・公益財団法人日本体育協会)に復帰加盟(昭和13年5月31日加盟、昭和48年3月30日退会)にともない体協会員制度を発足。 ●理事会で(財)日本オリンピック委員会(現・公益財団法人日本オリンピック協会)(JOC)に加盟決定。 ●体協加盟により県体協に加盟している熊本、大分、栃木、埼玉、山梨、山口の6団体が加盟承認された。	
1993 平成 5年	● (財)日本オリンピック委員会(現・公益財団法人日本オリンピック協会)(JOC)に準加盟団体として加盟承認された。	A70年史発行
1994 平成 6年		
1998 平成10年	● JGA会長に後藤田正晴、細川護貞は名誉会長にそれぞれ就任。前年、細川の会長退任後、副会長の中井文治がこの日まで会	長を代行。
<b>2001</b> 平成13年	●日本全国にゴルフコースは2,000を超え、英米に次ぐゴルフの盛んな国に成長。グルームがコースを造った年を 日本のゴルフ元年として2001年を"ゴルフ100年"としてゴルフ関連団体と共同してさまざまな記念式典を行った。 "日本のゴルフ100年"を祝う記念レセプションが都内ホテルで開催され、海外からの宵客を含む400余人が出席。	

"日本のゴルフ100年"を祝う記念レセブションが都内ホテルで開催され、海外からの賓客を含む400余人が出席。 米ゴルフ協会のフォーランド、R&Aキャプテンのシマーズらから祝辞が寄せられ"日本のゴルフ100年"を祝った。 この機に日本のゴルフの発展に貢献のあった大谷光明元JGAチェアマン以下53人の先達を顕彰し、その偉業を讃えた。



JGA創立の会合が開かれた東京ゴルフ倶楽部 (駒沢)





JGA主催となり大利根CCで開催された日本 女子オープン



責重な展示物や資料が多数揃えられている (JGA ゴルフミュージアム内)



世界アマ香港大会で優勝を果たした日本チーム



2001年日本ゴルフ100年記念レセプション

	<ul><li>●日本のゴルフ界が待ちこがれていたゴルフ場利用税の一部改正が実現し、平成15年の4月から身体障害者、18歳未満のゴファー、学校教育法(第1条)に規定する学校の先生、生徒および教育者(保健体育の実技または公認の課外活動の場合に限る)、</li></ul>
2002 平成14年	子で致用点、係:1 (未)に現たり る子代が元主、主征あるが教育者 (味健や胃の失びまたは公認の様か治動が場合に限る)、 7 (意以上のゴルファ・、国民体育大会の選手に対してはゴルン綱利用税が非課税扱いとなる。 日本ゴルフ協会がゴルフ場利用税廃止運動を起こして以来、初めての朗報で、これまでに全国のゴルファー 840万人の署名が集まった。
2003 平成15年	●JGA会長に安西孝之が就任。
<b>2011</b> 平成23年	●東日本大震災が発生。JGAを始めとする日本ゴルフ関連20団体は、日本ゴルフ界合同震災復興支援チャリティープログラムに取り組むことを発表。「震災復興支援グリーン・ティー・チャリティー~日本のゴルフが、日本のチカラに~」のスローガンの下、募金箱の設置やチャリティーグッズの販売などの支援活動に取り組んだ。日本ゴルフ協会では、主催競技に「震災復興支援グリーン・ティー・チャリティー」を冠し、競技会場での募金活動を行ったほか、主催オープンゴルフ選手権の賞金5%を獲得賞金選手から赤十字社へ寄付を行った。また、各ゴルフ場においても独自の支援活動に取り組み、被災地の1日も早い復興のための活動に日本ゴルフ界が一致団結して取り組んだ。
2012 平成24年	<ul> <li>新しい公益法人制度(公益法人関連三法)の施行に伴い移行認定を受け、4月に公益財団法人移行手続きを行い、公益財団法人として新たなスタートを切った。</li> <li>常務理事で国際委員長(当時)を務める川田太三が、2013年度ジョー・ダイ賞を受賞することがUSGAから発表された。</li> <li>同賞は、ボランティアでゴルフ競技に多大な貢献を果たした個人に贈られるもの。川田の30年にわたるゴルフ競技の国際親善大使としての貢献とUSGA主催のナショナル選手権への貢献に対して受賞が決定したもので、初の米国人以外の受賞者となった。なお、表彰式は2013年2月のUSGA年次総会で挙行された。</li> </ul>
2013 平成25年	<ul><li>▼ブエノスアイレスで行われた国際オリンピック委員会総会で2020年オリンピックの開催都市が、東京に決定。 1964年以来2度目。ゴルフ競技は、埼玉県の霞ヶ関CCが舞台となる。</li></ul>
2014 平成26年	<ul> <li>● これまでの、IGA ハンディキャップを改正すると共にハンディキャップ査定システムを「NEW J-sys」に改修して稼働し、USGAハンディキャップシステムの運用を開始。規定は「JGAハンディキャップ規定(USGAハンディキャップシステム準拠)」に改め、</li></ul>
2015 平成27年	● 平山伸子理事が日本人で初めて国際ゴルア連盟(IGF)の女子チェアマンに就任。2018年まで同職を務めた。 翌2016年にはIGF理事に選出され、またアジア太平洋ゴルフ連盟(APGC)の理事にも就任。 JGAA主催ナショナルオーブン改革の一環として日本オーブンでアマチェア予選会「ドリームステージ」を創設。 JGA/USGA/レンディキャップインデックスを取得していれば誰でも参加可能な世界的にも例を見ない門戸開放を行う。 JGA会長に竹田恆正、名誉会長に12年間会長を努めた安西孝之前会長が就任。あわせてリオオリンピックに向け 倉本昌弘PGA会長がオリンピックゴルフ競技対策本部強化委員長、小林浩美LPGA会長の同副委員長就任を発表。 第100回日本アマチュアゴルフ選手権を開催。100回記念大会として東西での予選会を開催。 本選は36ホール・ストロークブレーを廣野GCと小野GCで行い、上位64名によるマッチブレーを廣野GCで実施。 金谷拓実と中島啓太の史上最年少優勝記録をかけた決勝は、金谷が勝利を収め、17歳51日の最年少優勝を達成。 JGAナショナルチームに海外から初のヘッドコーチとしてオーストラリアからガレス・ジョーンズを招聘。 2016年から日本男女アマを36ホール・ストロークプレー上位 32名によりマッチブレー方式から 72ホール・ストロークブレーに変更することを発表。
<b>2016</b> 平成28年	<ul> <li>政界・スポーツ界・文化・芸能などゴルフに深い造詣を持つ有識者による「全日本ゴルフ振興会議」が発足。 発起人のほか、鈴木大地スポーツ庁長官、衛藤征士郎ゴルフ振興議員連盟会長らが出席する第1回会議を開き、 国民のムーブメントとしてゴルフ振興の機運を高めようと意見交換を行った。</li> <li>ゴルフウィークの一環として「スポーツ庁長官杯第1回全国ゴルフフェスタ全国大会」を開催。 スポーツ庁が初めて長官杯を提供して、本大会の開催趣旨に賛同いただいた全国287コースで開催した本大会は、 JGA/USGA ハンディキャップインデックスを取得している3,922名のアマチュアゴルファーが参加。</li> <li>リオオリンピッグゴルフ競技が行われ、日本代表として男子は片山普吳と池田勇太、女子は大山志保と野村敏京が出場。 男子競技はジャスティン・ローズ、女子競技は朴仁妃が金メダルを獲得。</li> </ul>
2017 平成29年	<ul> <li>● 日本女子オープン(鳥山城)で畑岡奈紗が史上初のアマチュア優勝を果たし大会最年少優勝記録を更新。</li> <li>● R&amp;Aサスティナビリティセミナーを横浜CCで開催。</li> <li>● R&amp;AとUSGAが世界統一ハンディキャップシステム開発に着手し2020年から稼働予定と発表。</li> <li>● 日本男女アマチュアゴルフ選手権で東西2会場の予選会開催を発表。</li> </ul>
2018 平成30年	<ul><li>● R&amp;AとUSGAが2019年1月1日から施行されるゴルフの規則の概要を発表。</li><li>ドロップの方法やコース名称の変化など1984年以来35年ぶりの大改訂となる。</li><li>● 芥屋GCで開催の日本アマチュアゴルフ選手権が険悪な気象状況によるコンディション悪化のため大会史上初の競技不成立に。</li></ul>
2019 平成31年 令和元年	<ul> <li>● 1984年以来35年ぶりの大幅改定となったゴルフ規則が施行。複雑化したゴルフ規則をシンプルにわかりやすくし、文言もより平易にし近代にあったものに変更された。</li> <li>● 日本オープンの賞金総額を2億1,000万円に増額。優勝賞金は4,200万円に。</li> <li>日本女子オープンの賞金総額を1億5,000万円に増額。優勝賞金は3,000万円に。</li> <li>● 東京都内でアジア初となる「USGAゴルフイノベーションシンボジウム」が開催された。USGAが主催する本シンボジウムは、世界的に競技人口の減少が懸念される中、ゴルフを継続的に発展させるためにゴルフ施設の生産性改善の取り組みや、研究成果を発表するもので、アメリカの他、メキシコ、韓国、香港、オーストラリアでの取り組みが紹介された。</li> </ul>
2020 令和 2年	● 3本部制を廃止し、委員会を再編(19委員会に)。 ● IOCが新型コロナウイルス感染症拡大のため東京オリンピックの翌年延期を決定。 ● 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年JGA主催アマチュア全競技の中止。 ● 2020年日本シニアオープンゴルフ選手権/日本女子オープンゴルフ選手権/日本オープンゴルフ選手権のプロアマ大会中止・一般非公開開催。あわせてナショナルオープン賞金総額を25%減額。 ● 金谷拓実が世界アマチュアゴルフランキング1位に与えられるマコーマックメダルを日本選手として初めて獲得。
2021 令和 3年	● WHS (ワールドハンディキャップシステム)の日本導入を2022年4月と発表。  ■JGA定款を変更。ゴルフの健全な普及と振興・イメージアップを図る活動がJGAの最も大切な事業であることを明確にした。 ● マスターズ・トーナメント・空松山英樹が日本選手初のメジャータイトルを獲得。 ● 全米女子オープンで笹生優花と畑岡奈紗の日本選手同士のプレーオフが行われ、笹生が初優勝を飾る。 ● 東京オリンピック2020が開幕。205の国と地域から約11,000人が参加。コロナ禍の緊急事態宣言の中で、無親客開催となったが、無事に全日程を終了。日本選手団は金メダル27個を含む58個と史上最多のメダルを獲得した。ゴルフ競技の日本代表選手として松山英樹、星野陸也、畑岡奈紗、稲見萌寧が出場。 男子ゴルフはボンダー・シャウフェレが金メダルを獲得。稲見萌寧がプレーオフでリディア・コを退け、女子ゴルフはネリー・コルダが金メダルを獲得。稲見萌寧がプレーオフでリディア・コを退け、女子ゴルフ日本選手初の銀メダルを獲得。畑岡奈紗は9位タイ。
2022 令和 4年	● ゴルフ振興推進本部を設置。情報シェアリング、女性とゴルフ、ゴルフと健康の3部会でゴルフ振興に取り組む体制とした。 ● 2022年度第1回定時評議員会で任期満了に伴う役員(理事・監事)の改選を行い、その後に開催した臨時理事会にて 池谷正成会長の就任が決定。竹田恆正前会長は名誉会長に、安西孝之前名誉会長は特別顧問に就任した。 また、スポーツガバナンスコートに準じて役員(理事)の女性の割合を30%とした。 ● 蟬川泰果が日本オープンゴルフ選手権で95年ぶり2人目のアマチュア優勝を飾る。 ● JGAゴルフ振興推進本部で「ゴルフ応援サイト」を開設。全国の地区連盟、JGA加盟倶楽部、ゴルフ関連団体の他、 海外でのゴルフ振興に関する情報を掲載。
2023 令和 5年	<ul> <li>●公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)の評議員会が開催され、JGA理事を務める服部道子がJOC理事に就任</li> <li>●都内ホテルで「R&amp;Aジャパンゴルフサミット」が開催。</li> <li>R&amp;Aが主催する本サミットは、日本のゴルフが直面している問題点を話合い、日本の様々なゴルフ関係者が集結して重要な役割を果たすために日本ゴルフ協会、地区ゴルフ連盟、プロ3団体、ゴルフメーカー、ゴルフ場運営会社ら幅広い分野から約85名が招待され、ゴルフと健康など様々なテーマでセッションが行われた。</li> </ul>



ゴルフ関連20団体がひとつになって動いた 震災復興支援グリーン・ティー・チャリティー



米国人以外初ジョー・ダイ賞を受賞した 川田太三



1962年以来、52年ぶりの日本開催となった 世界アマチュアゴルフチーム選手権



畑岡奈紗が日本女子オープンで史上初の アマチュア優勝を達成



た金谷拓実



(左)松山英樹がアジア勢初のマスターズ優勝 (右)2020東京五輪で稲見萌寧が日本ゴルフ界 初の銀メダル獲得



蟬川泰果が日本オープン95年ぶり2人目の アマチュア優勝を果たす

# ゴルフ振興推進本部本格稼働から1年 ゴルファーを増やすための さまざまな取り組みと今後の展望

ゴルフの普及振興を推し進めるためにJGAが設置したゴルフ振興推進本部が本格稼働して1年が経ちました。 同本部は具体的にどのような活動を行ってきたのか。

この先、どんな活動を目指しているのか。

ゴルフ振興推進本部本部長を務める山中博史JGA専務理事に聞きました。





## ―― ゴルフ振興推進本部の成り立ちと役割をお聞かせください。

山中 JGAは元々、アマチュアの競技団体という色合いが強い組織でした。そこから、すべての活動をゴルフの普及振興にひも付ける形に定款を変更したのが3年前の2021年です。少子高齢化の時代、この先どのようにゴルファーを増やしていくのかが普及振興のカギになってくるわけですが、それをJGAだけでなく全国8つの地区連盟やプロ3団体、全日本ゴルフ練習場連盟や日本ゴルフ用品協会などゴルフ関連各団体と一緒になって考えていこうと立ち上げたのがゴルフ振興推進本部です。その中に「ゴルフと健康部会」「女性とゴルフ部会」「情報シェアリング部会」という3つの部会をつくり、昨年はこの3部会が本格的な活動を始めた年でした。

## ―― まず「ゴルフと健康部会」についてですが、どのような目的でつくられたのでしょうか。

山中 「ゴルフと健康」は世界のゴルフ界が力を入れて取り組んでいるテーマです。たとえばR&Aでは数年前からイギリス政府や学者の協力のもとでゴルフが

いかに健康に貢献しているかというエビデンスを出しています。日本ではKGA(関東ゴルフ連盟)がWAG(ウィズ・エイジングゴルフ協議会)というゴルフと健康に関する事業に長年取り組んでいましたが、それをJGAゴルフ振興推進本部で引き継いだ形になっています。「ゴルフと健康部会」はゴルフをすることで健康寿命が延び、ゴルフを少しでも長く続けられる、結果として医療費削減に役立つ、あるいはお年寄りの孤立化を防ぐ効果などを研究し、ゴルフが国民のみなさんの生活にいかに貢献しているのかということを知っていただこうというものです。

## ―― 具体的にはどのような活動を行っているのでしょうか。

山中 「JGA WAGスクール」というゴルフ未経験者でも参加できる健康維持推進のための8日間のスクールをKGA時代から実施しています。このJGA WAGスクールを1日で体験してもらえる1Dayプログラムをつくり、9月の日本シニアオープン(9月14~17日、能登CC)の週を「ゴルフ健康週間」として日本シニアオープンの会場をはじめ全国24会場で実施し、同スクール

WOMEN'S GOLF DAY

JGA主催のWGDレッスン会 in 宮里藍サントリーレディースオー プンを開催。横峯選手も特別参 加。参加者から大反響だった

### JGA WAGスクール

健康維持推進のための「JGA WAGスクール」の体験版1Day プログラムを日本シニアOP会 場をはじめ全国24会場で実施。 未経験者や初心者を対象とし た内容で好評を得ている













のPRを行いました。また、日本シニアオープンの会場では健康のために歩いて観戦していただこうという趣旨でスタンプラリーを行いました。総入場者の約20%にあたる814人が参加してくださり、非常に好評でしたね。11月にはJGA WAGスクール卒業生で構成するWAGクラブの第1回イベントとしてラウンド会を日高CC(埼玉県)で行い、卒業生同士のコミュニケーションを図りました。

JGA WAGスクール

1Dayプログラム

## ―― 次に「女性とゴルフ部会」の目的と活動内容を お聞かせください。

山中 R&Aでは女性のゴルフ参加率、プレーだけでなく組織の運営などへの参加率も含めたものですが、これを増やしていくための「女性のゴルフ振興憲章」を設けています。JGAも賛同し2019年に署名しました。女性ゴルファーを増やし、女性が活躍する場を増やすことは世界的な流れであり、ゴルフ振興推進本部でも柱のひとつとして「女性とゴルフ部会」を設置しました。まず組織としては2022年のJGA役員改選時に女性理事の比率を13%から30%に増やしました。今年6月の改選時にはさらに増やす予定です。一般

ゴルファーに向けた活動としては、昨年WOMEN'S GOLF DAY (以下WGD)を実施しました。WGDは 女性にゴルフを始めてもらうきっかけづくりやゴルフを 継続してもらうことを目的とした世界的なイベントです。 2016年にアメリカで制定されたもので毎年6月の第1 火曜日に世界各地で開催されています。このWGDを 日本流にアレンジして昨年初めて実施したのです。 1年目ということで登録費用はJGAが負担し、ゴルフ場、練習場など217の施設でイベントを行いました。

## ―― プロゴルファーやトーナメントの主催者も協力してくれたようですね。

山中 はい。当該週に行われた女子ツアーの宮里藍サントリーレディス会場で「WGDレッスン会」を開き、宮里藍さんや横峯さくらさんも来てくださいました。その前週のヨネックスレディスでもWGDの告知やイベントをしていただきました。男子ツアーでは日本ゴルフツアー選手権で女性の入場を無料にするなどさまざまな形で協力していただきました。WGDは1年目から非常に反響があって、みなさん「ぜひ来年も」と言ってくださり、成功だったと感じています。

 $\mathbf{S}$ 





## - 日本女子オープンの週にも女性向けのイベント を行ったと聞きました。

山中 昨年の日本女子オープンは福井県での開催 だったのですが、開幕前の火曜日に福井市内の練習 場で塩谷育代プロ、服部道子プロ、馬場ゆかりプロ、 宮里美香プロの歴代優勝者4人による「特別レッスン 会」を行い、10代から70代まで20人の女性ゴルファー が参加してくださいました。

### ―― このような活動の情報を発信していくのが「情報 シェアリング部会」ですね。

山中 そうです。ゴルフ界はさまざまな団体がさまざま なゴルフ振興策を講じていますが、理想はひとつにまと まって活動することです。普及振興活動に関する情報 をまとめ、発信するプラットフォームを構築するのが「情 報シェアリング部会一の役割。一昨年末に「IGAゴルフ 応援サイト」をスタートさせてゴルフ関連団体やゴルフ 場のみなさんに普及振興の情報を投稿していただき、 広く発信できる形をつくりました。2023年末時点で 登録アカウントが1,154あり、うちゴルフ場は約1,000に 達しています。ただ、まだまだ投稿数もアクセス数も 少ないのが現状です。



### ―― 本格始動2年目を迎える2024年、各部会それぞ れどのような展開を考えていますか。

山中 まず「ゴルフと健康部会 | ですがIGA WAG スクールを全国展開で広げていきたいと考えています。 そのためには各地区連盟や各団体のみなさんにお願 いしてこの活動を強く推していける形にしたい。1Dav プログラムもありますから、まず経験していただきたい ですね。それから、昨年の日本シニアオープン会場で 開催したスタンプラリーは評判が良かったので今年は 日本オープンと日本女子オープンの会場でも実施しよ うと考えています。両大会はギャラリー数も多いですし、 今年は比較的フラットなコースで開催されますから 歩きやすいと思います。余談ですが、ギャラリーとして 18ホール歩くと10.000~11.000歩を歩くことになります。 ぜひ多くの方に参加していただきたいですね。

### --- 「女性とゴルフ部会」はいかがでしょう。

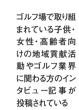
山中 今年も6月のWGDを実施しますが、たとえば 春にこのイベント、夏にはこのイベント、秋には……とい うように年間を通した活動ができるように企画を練って いるところです。

### ―― 現在、女性ゴルファーの割合は全体のどれくらい でしょうか。

山中 以前より増えて18~20%くらいになったのでは といわれています。最近の女子プロゴルファーは注目 されていますし、ファッションもおしゃれな選手が多いの で、そういったことが若い女性でゴルフを始めようとい う方が増えた一因になっているのではないでしょうか。 ただ、まだまだ女性が少ないのが現状。より活動に力 を入れて女性ゴルファーを増やす努力を続けていきた いと思います。また、より広く活動を知っていただくため に、我々の取り組みのスローガンとロゴマークを作製中 です。「ゴルフと健康部会 | ではすでにポスターやポッ プをつくって全国のゴルフ場に配布させていただいた のですが、評判がよくていろんなところで掲示してくだ さっています。









JGAゴルフ応援サイト

ゴルフ関連団体やゴルフ場から 普及振興の情報を広く発信



## ―― 「情報シェアリング部会」のテーマは先ほどおっ しゃったように「JGAゴルフ応援サイト」への投稿数 やアクセス数を増やすことでしょうか。

**山中** 「IGAゴルフ応援サイト」を開設して1年間の 投稿数は297、閲覧者数は約2万人でしたから理想よ りひとケタ、ふたケタ少ないと感じています。基本的に 投稿していただける内容はゴルフの普及振興に関す るもの。たとえばゴルフ場で取り組んでいる子供向け、 女性向け、あるいは高齢者向けのイベントや地域貢献 活動などを投稿していただく形です。それを他のゴル フ場の方が見て「こんなアイディアがあるんだ、うちでも やってみよう」と参考にしていただくこともできると思い ます。それに、ゴルフ業界に関わるさまざまな方のインタ ビュー記事なども掲載していますが、もっと幅を広げて いきたい。たとえばスポーツ選手や著名人に協力して いただくということも考えたいですね。もっとうまくPR して「IGAゴルフ応援サイト」を知っていただくことが 課題です。

それと何よりもゴルフのイメージアップを図ることが 大切です。これだけゴルフというスポーツが多くの人に プレーされ、国民の健康や地域社会や振興に寄与し ていている一方で、未だにゴルフは贅沢な遊びだとい うイメージを持たれている。そのイメージを払拭するこ とが、我々が長年に渡って訴えているゴルフ場利用税 問題や、国家公務員倫理規程の打破に繋がっていく のだと思います。

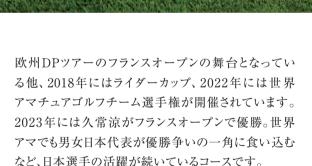
## ―― これらの活動をより発展させていくためにはゴル フ界全体の協力も重要になってきますね。

山中 はい。日本にはIGA加盟倶楽部のメンバー以 外にもたくさんのゴルファーがいます。パブリックコース や練習場、或いはシミュレーターでのゴルフを楽しんで いる方も大勢います。今年は日本パブリックゴルフ協会 にもゴルフ振興推進本部に入っていただいて一緒 にゴルフの普及振興を准めていく予定です。普及振 興活動は時間がかかるかもしれませんが、ゴルファー の数が増えなければ、競技をする人もハンディキャップ を取る人もいなくなり、IGAの存在価値がなくなってし まいます。JGAはすべてのゴルファーのためにあるの だという意識を役員、委員、職員とも共有しながら普及 振興活動に取り組んでいるところです。

10

2024年8月 パリ五輪開催

2021年8月、世界中を熱狂させた東京オリンピックから3年。アスリートの祭典であるオリンピックがフランス・パリで開催されます。2021年に霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されたゴルフ競技では、稲見萌寧が日本女子ゴルフ初の銀メダルを獲得するなど活躍を見せた日本代表。パリオリンピックでは、2大会連続のメダル獲得を目指します。開幕まで約6ヶ月と迫ったパリオリンピックの情報をお知らせします。



## パリオリンピックへの切符は 6月のランキング上位60名の手に

パリオリンピックの出場は、世界ランキングを元にしたオリンピックランキングで決定されます。男子は2024年6月17日、女子が2024年6月24日時点のオリンピックランキングをもとに出場枠が決定します。具体的には、同ランキング上位15位までは各国最大4名までが選ばれ、16位以下の選手は15位以内の選手を含めて最大2名までが選ばれ、男女ともに最大60名で開催されます。



パリオリンピック競技が開催されるル・ゴルフ・ナショナル

ターやナショナルトレーニングセンター、強化活動拠点 のフェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎県)の利用の ほか、医科学的なサポートなど支援プログラムを提供

しています。

## 2024年JOC認定 ゴルフ競技オリンピック強化指定選手

男子:久常涼、星野陸也、中島啓太、蟬川泰果 金谷拓実、今平周吾、比嘉一貴、大槻智春 女子:山下美夢有、古江彩佳、笹生優花、岩井明愛 西郷真央、櫻井心那、岩井千怜、西村優菜

また、パリオリンピックでは日本代表が十分なパフォーマンスを発揮できるように専門スタッフが同行し、快適に大会に臨めるよう衣食住の環境整備を行う予定です。ゴルフ日本代表がメダルを獲得した際には、JOCからの報奨金とは別にJGAオリンピックゴルフ競技対策本部から金メダル2,000万円、銀メダル1,000万円、銅メダル600万円の報奨金を授与します。



日本代表がパリオリンピックで着用するユニフォーム やキャディーバックは、2024年6月に皆さまにお披露目 できる予定です。

### 日本代表のメダル獲得に向けてのサポート

JGAは、日本オリンピック委員会の選手強化制度「JOC認定オリンピック強化指定選手」を申請しています。2024年は男子が2023年12月4日時点の世界ゴルフランキング、女子は2023年11月27日時点の世界女子ゴルフランキング上位から各8名をゴルフ競技強化指定選手に申請し、JOCから認定を受けました。オリンピック強化指定選手には国立スポーツ科学セン





中島啓太

山下美夢有

## パリオリンピックゴルフ競技は8月1日に ル・ゴルフ・ナショナルで開幕

パリオリンピックは、7月26日に開会式が挙行され8月11日に閉幕する予定です。フランス各地で32競技329種目が実施されます。ゴルフ競技は、ル・ゴルフ・ナショナルで男子が8月1日から4日、女子が8月7日から10日の各4日間72ホール・ストロークプレーで行われます。

ル・ゴルフ・ナショナルは、フランス・パリ西部のベルサイユ宮殿にほど近い広大な土地に、世界で200コース以上のゴルフ場の設計を手掛け、光と影の魔術師といわれ名声を集めている設計家のロバート・ヴォン・ヘギー氏の手により1990年に開場しました。無数のリンクルスタイルのバンカーを備え、起伏のあるフェアウェイが特徴のコースで、1991年以来毎年、

12

## 特集3

## パリオリンピックゴルフ競技のマイルストーン

6月17日	男子オリンピックゴルフランキング(OGR)期間終了
6月18日	男子 OGR が発表され、国際ゴルフ連盟が国内オリンピック委員会 / 国内競技連盟に割当数と通知。 国際ゴルフ連盟が男子の再配分予備リストを公表。
6月24日	女子オリンピックゴルフランキング(OGR)期間終了
6月25日	女子 OGR が公表され、国際ゴルフ連盟が国内オリンピック委員会 / 国内競技連盟に女子の割当を通知。 国際ゴルフ連盟が女子の再配分予備リストを公表。
6月27日	国内オリンピック委員会は国際ゴルフ連盟に割り当てられた出場枠の使用意思を表明する。
7月 2日	国際ゴルフ連盟は全ての未使用の出場枠を再配分する
7月 8日	パリオリンピックエントリー締切
7月31日	男子の再配分終了
8月 1日~ 4日	パリオリンピック男子個人ストロークプレー
8月 6日	女子の再配分終了
8月 7日~10日	パリオリンピック女子個人ストロークプレー

## オリンピックゴルフ競技と日本代表

2016年リオオリンピックで112年ぶりにゴルフ競技が実施種目に復活。 ゴルフ日本代表として初めてのオリンピックに出場したのは、片山晋呉、 池田勇太、大山志保、野村敏京の4名でした。2016年大会では、野村 がメダル獲得まであと一歩と迫る4位に食い込んでいます。2022年には コロナウイルスのパンデミックにより史上初の1年延期の末に東京オリン ピックが開催。霞ヶ関カンツリー倶楽部を舞台にゴルフ競技が行われま した。日本代表は松山英樹、星野陸也、畑岡奈紗、稲見萌寧の4名。男子 は松山が銅メダルを争うプレーオフの末に4位T。女子は稲見が銀メダル を巡るプレーオフを勝ち抜き、女子ゴルフ初の銀メダリストに輝きました。



プレーオフの末、 女子ゴルフ初の 4位Tに終わった松山英樹 銀メダルに輝いた稲見萌寧

## オリンピックとゴルフの歴史

近代オリンピックが始まったのは1896年のアテネ。ゴルフは1900年の第2回 大会でオリンピックの実施競技になりました。その第2回大会は奇しくも2024年 大会の開催を控えるパリで開催されました。第1回のアテネ大会では女性の種目 がなかったため、パリ大会で女性も参加できるゴルフが実施されたのです。女子競 技は、10名が参加し9ホールのストロークプレーで行われ、47ストロークでマー ガレット・アボットがアメリカの女性で初のオリンピック金メダルの栄誉を勝ち 取りました。男子は36ホール・ストロークプレーの結果、167ストロークでホー ルアウトしたチャールズ・サンズ (アメリカ)が金メダルを獲得しました。1904年 にセントルイスで行われた第3回大会でのゴルフ競技は男子のみの開催となり、 個人戦と団体戦での実施。この第3回大会では、ノン・オリンピック種目としてドラ イビングコンテストやパッティングコンテストも開催されたと記録が残っています。



パリ大会でM.アボットが女性初の金メダル



1904年セントルイス大会の競技会場